41 01 08 04 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	都市景観事務	担当課	都市計画課	担当係	都市計画係	管理番号	4105
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	深谷市レンガのまちづくり条例 深谷市レンガのまちづくり条例施行規則 景観法、屋外広告物法、 埼玉県景観条例、埼玉県屋外広告物条例　他				
中項目	200001 都市整備の行き届いたまちづくり						
小項目	200003 自然・文化を生かした景観形成						

事業概要	深谷市の自然・建築物等を活かした都市景観を守るための施策を推進する。 また、「深谷市レンガのまちづくり条例」に基づき、レンガ等を使用した建築物等の建築主に対し補助金を交付し、レンガの建築物等を増やすことで、歴史的背景を踏まえた個性あるまちづくりを推進する。
目的 ※何のために	地域の特性を活かした景観形成を推進し、魅力と風格のある郷土の形成に寄与する。また、歴史的背景を踏まえた個性あるまちづくりを目指すため、レンガ等を使用した建築物を増やし、レンガのまちづくりも推進する。
対象 ※誰・何を対象に	景観全般については全市民。屋外広告物条例、景観条例及びレンガのまちづくり条例においては対象物件等の届出者・申請者。
手段 ※どのように	景観啓発・普及事業の実施。屋外広告物条例の申請許可及び景観条例に基づく届出。レンガのまちづくり条例の申請及び補助金交付。
成果 ※何を求めるか	景観に対する意識の醸成を図るとともに、屋外広告物条例及び景観条例おいては運用を行い、景観の保全を図る。レンガのまちづくり条例においては対象建築物の申請者に補助金を交付し、新たなまちなみの形成を図る。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　■ 市民ボランティア　■ ＮＰＯ 民間団体　■ その他（ 審査会 ）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	08	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費	レンガのまちづくり事業	63,000
	一般会計	08	土木費	04	都市計画費	01	都市計画総務費	都市景観事務費	161,962
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ 景観行政に関する事	・
・ 埼玉県景観条例に基づく届出	・
・ 屋外広告物の許可	・
・ レンガのまちづくり条例関連業務	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			市民景観啓発事業（景観絵画展） レンガ条例の補助金事務	市民景観啓発事業（景観絵画展） 景レンガ条例の補助金事務	市民景観啓発事業（景観絵画展） レンガ条例の補助金事務	市民景観啓発事業（景観絵画展） レンガ条例の補助金事務	市民景観啓発事業（景観絵画展） レンガ条例の補助金事務	
事業費	予算（現額）		6,837,000	1,792,000	3,762,000	3,077,000	3,077,000	
	決算額		4,724,103	983,168	224,962	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	4,724,103	983,168	224,962	3,077,000	3,077,000	
人件費	従事職員数（人）		1.40	1.24	1.24	0.85	0.85	
	人件費相当試算 ※1		10,890,600	9,649,680	9,747,640	6,925,800	6,925,800	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			15,614,703	10,632,848	9,972,602	10,002,800	10,002,800	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	レンガ補助金ＰＲ件数（中央区画整理地内）	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	12.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		特定の相手方へのＰＲであり、タイミングがあるため目標設定はできない。							
		問い合わせ表記録									
□	活動指標２	埼玉県景観条例に基づく届出件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		23.00	25.00	22.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		届出に基づく結果であるため、目標設定はできない。							
		届出一覧									
□	成果指標１	屋外広告物更新率 Ｒ１　８７／９９件	目標値	%	78.89	80.00	81.00	82.00	83.00	84.00	□
			実績値		78.89	77.17	87.88	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		Ｈ２９実績７８．８９%から、毎年度約１%ずつ上昇させることとする。							
		更新率									
■	成果指標２	屋外広告物条例未更新物件数	目標値	件	0.00	33.00	32.00	31.00	30.00	29.00	□
			実績値		0.00	33.00	31.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		Ｈ３１～　Ｈ３０実績３３件から毎年度１件ずつ減少させることとする。							
		未更新一覧									
■	成果指標３	レンガ条例補助金交付件数（対象区域全域）	目標値	件	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	□
			実績値		1.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		Ｈ３０～　毎年度２件以上を目標とする。							
		交付一覧									
■	成果指標４	レンガ条例補助金交付件数（重点路線に接する区域）	目標値	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	□
			実績値		0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		Ｈ３１～　毎年度１件以上を目標とする。							

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 ・レンガのまちづくり条例の相談については従来の申請相談を待つ姿勢から、中央区画整理事業地内における換地対象者という特定の相手方へＰＲを行うこととした。
成果（意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 ・屋外広告物業務に関する指標については目標値を上回ることができた。 ・レンガのまちづくり条例に関する指標については、一部目標を達成することができなかった。
効率性（効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	都市計画係長　　岡部　孝司

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	レンガの補助制度を改正したことにより、深谷駅周辺の中心市街地で新たなレンガ建築物が増え、まちの魅力が高まり市民の景観に対する意識が高まるように、さらなる普及啓発を行っていく必要がある。 また、屋外広告物の未更新物件については引き続き指導を行って行く必要がある。
達成状況及びその効果	・レンガのまちづくり補助金について、対象地区内に対し、パンフレットを配布した。 ・屋外広告物の未更新物件への対応は、適正化旬間である９月に集中的な更新の指導を実施したことにより、件数を減らすことができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	都市景観事務	担当課	都市計画課	担当係	都市計画係	管理番号	4105

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 → ■ 成果向上のための改善
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

　レンガのまちづくり補助金に関しては、中央区画整理地内の換地等の進捗に比例し、問い合わせ等が多くなっている。
　また、重点路線である（仮称）にぎわい通りの舗装のデザインが明らかになっていく状況であり、本補助金が周辺全体のまちなみ形成にどう寄与していくのか試される段階に入った。
　今後、中心市街地のまちなみ形成のビジョンが明確になれば、自ずと本補助金の存在意義も高まるため、成果が上向くよう必要な見直しを検討する。

評価者	都市計画課長　　吉田　稔

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

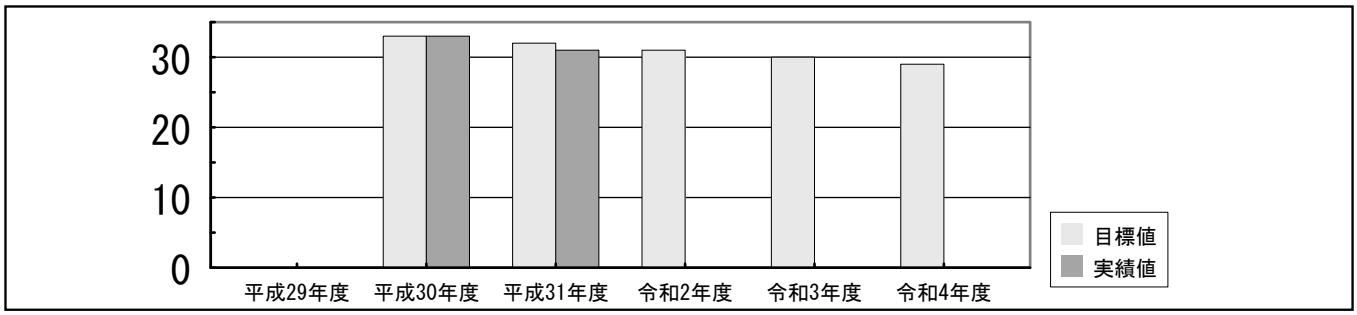
改善・改革案	・レンガのまちづくり補助金について、中央区画整理事業地内の換地の際に積極的に活用してもらうよう、区画整理課からの情報共有について、アプローチを変えていただき、ＰＲしやすい環境で強化を図る。 ・また、市街地活性化担当とともに連携し、レンガのまちづくりが中心市街地のまちなみ形成に寄与するよう、運用の見直しを検討する。 ・また、レンガを活かしたまちづくりの価値を高めるため、レンガのまちづくりのＰＲについて再構築を検討する。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

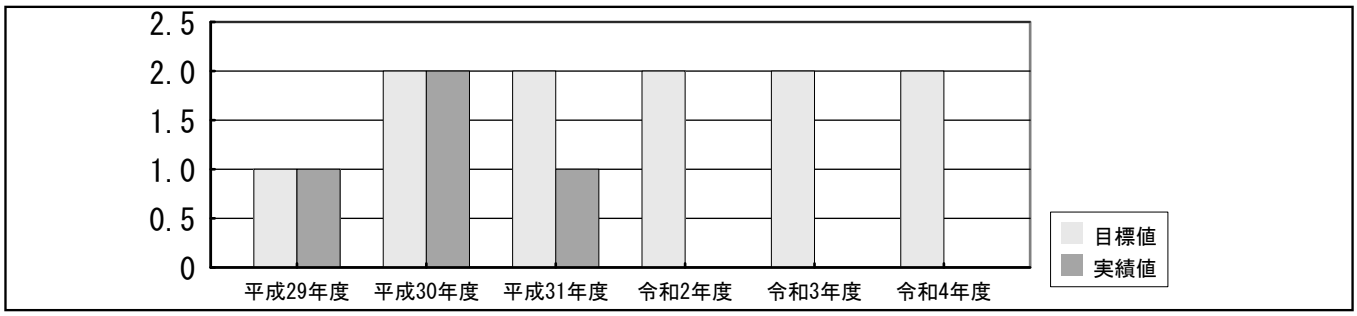
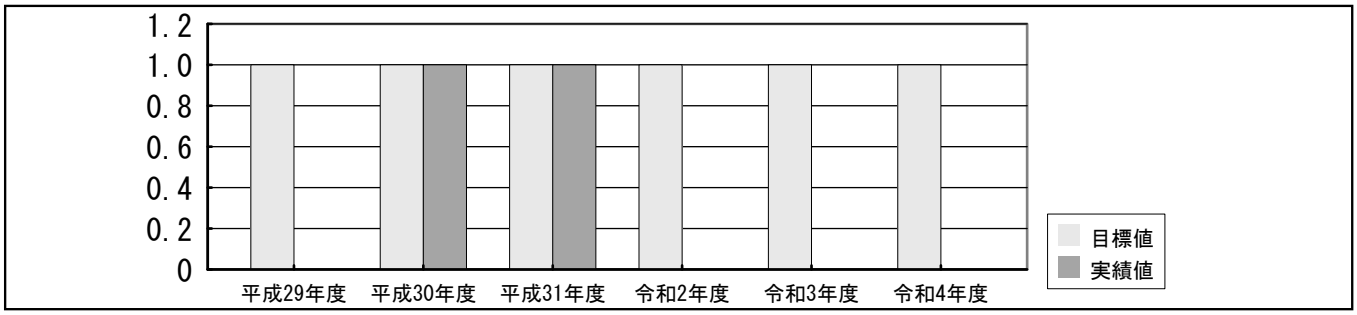
今後の課題	【令和２年度】 ・区画整理課との連携強化 ・運用の見直しの検討 ・レンガのまちづくりのＰＲの再構築 ※令和３年度以降、上記見直し及び再構築の運用

９．評価指標グラフ

区分	成果指標２	指標名	屋外広告物条例未更新物件数



区分	成果指標３	指標名	レンガ条例補助金交付件数（対象区域全域）



区分	成果指標４	指標名	レンガ条例補助金交付件数（重点路線に接する区域）